

第37回検定試験の採点対象外問題のお知らせ

2016年12月11日(日)に実施しました、第37回中国語コミュニケーション能力検定試験のリスニング問題の中に、正解が唯一つとならない、協会の規定による「紛らわしい問題」がありましたことを、受験者の皆様にご報告させていただきますとともに、規定により以下の対処を行いましたことも、合わせてお知らせいたします。

1. 「紛らわしい問題」と認定した設問

第2部 図画写真問題 第19問

2. 認定理由

当該設問はリスニング問題であり、描写物(タブレットPCのイラスト)が何であるかを、4つの選択肢を聞いて、1つの正解を選ぶ問題でした。選択肢の中には「スマートフォン」が含まれており、イラストを見る限りにおいて、このイラストが「タブレットPC」であることを特定することは不可能であることから、当該設問は「紛らわしい問題」であり、中国語能力を測定する試験の設問としては不適切であると判断しました。

3. 採点における対処方法について

試験実施後に「紛らわしい問題」であることが判明した場合、協会の規定に則り、採点の対象問題から除外して採点を行うということになっています。従って、「第2部 図画写真問題の第19問」は、採点対象外問題として、採点作業を行いました。

※尚、当該設問を採点対象外とすることによる、獲得スコアへの影響はございません。

上記について、受験者の皆様へご報告するとともに、心よりお詫びを申し上げます。

また作問委員会におきましては、今後は更に慎重な姿勢で作問作業を行い、同様の「紛らわしい問題」が出題されることのないよう、細心の注意を払うことを委員会にて再確認いたしました。合わせてご報告させていただきます。

2017年1月11日

中国語コミュニケーション協会
代表 相原 茂

同 TECC 検定事務局